

■講座の概要

テキスト『未来を学ぼう』は、イギリスの開発教育者らが1993年にまとめたものです。あとがきに、著者の一人のアンドルー・バーンズが「学校全体で取り組むという観点」を書いています。課題は、「一人や二人の熱心な先生が取り組む」で毛ではダメなのだと。

そのような実践を、学校全体で、いつでも、誰とでも。ESDの真髄と同じです。

■ねらい

共に生きる地球のための価値観とビジョンは、市民性教育の必須の要素です。価値観やビジョンをどう考え、どう教えるか、教え方・学び方を共有します。また、その教え方学び方そのものが市民性のスキルを身につけることにつながっています。

■2日間の構造

第一日目 (11/19)	第二日目(11/20)
セッション1 共通基盤づくり	セッション4 プログラム開発 ・
セッション2 未来を学ぼう ・	セッション5 プログラム開発続き ・
セッション3 ふりかえり ・	セッション6 ふりかえりと個人的 行動計画

■参考文献／使用テキスト

- ・ 未来を学ぼう、サリー・バーンズ、ジョージアン・ラモント、ERIC 国際理解教育センター編訳発行、1998
- ・ 原著 Values and Visions, 1995
- ・ Learning from Experience: cooperative learning and global education-World Studies in the Primary Curriculum, Miriam Steiner, Trentham Books, 1993

■研修の記録

セッション1 共通基盤づくり

11:00-13:00

1. スキル課題「ひょうたん」アート
2. 社会性・市民性・公共性と関係性を考える「フェデラル vs ローカル」

Federal : 国連
universal

地頭
知事・大名・代官
人口(沖縄)
ルール・法体系
フェスティバル
警察・軍隊
学校教育
大学・研究機関
マスコミ
国家神道
神社
皇室

人権は？
心？
慈悲

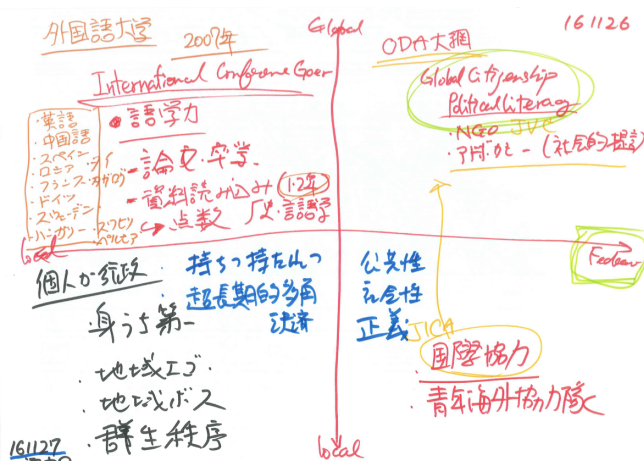
Local

守護
名主・名士
27(沖縄)
慣習・文化
D・カールル・専念
自警団 vigilance
寺子屋・私塾・高校
マナー・マナーハウス
寺・墓・長男

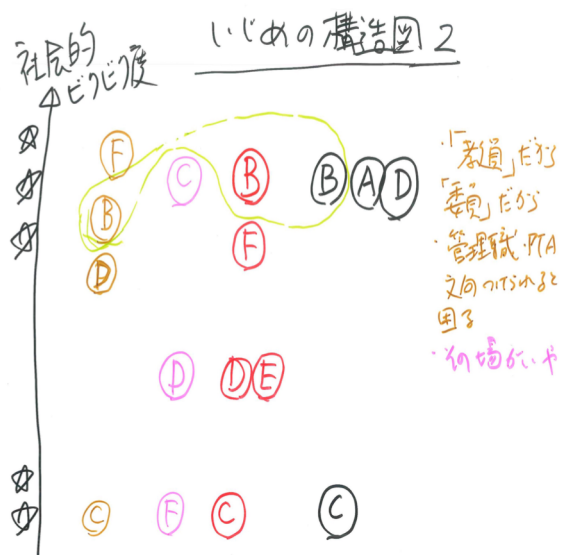
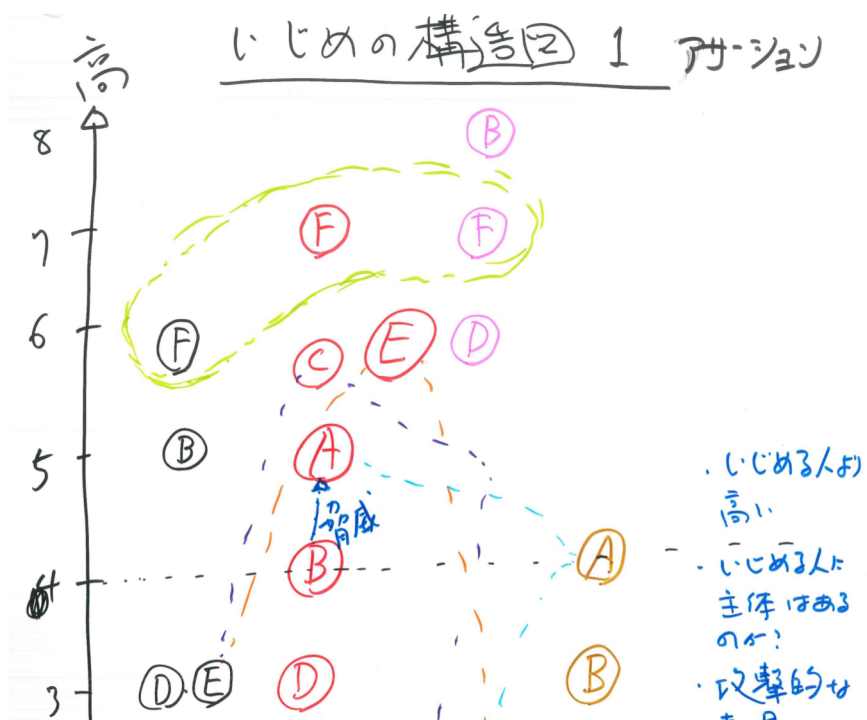
マスコミ
国家神道
神社
皇室
道徳・愛国心
次男・実利主義・通用財
一般会計・官僚
大企業
国家神道

「お金の持ち手」
倫理・人道
権力・肉欲性
自治会
特別会計
高市役所
中小零細
行政機関
勤労者

「お金の持ち手」
歩ける57に17やる
組織・同
の改善
自治会
緩くはる
行政機関
勤労者



3. いじめの構造図 1「アサーティブ度」 構造図 2「社会的ビクビク人間」



■二つの構造図の比較から「気づいたこと、感じたこと、学んだこと」をもう少し丁寧に共有すべきだった。

セッション2 「未来を学ぼう」のプログラム実践

14:00-16:00

「経験の広がり」「ふりかえりの鍵」「目的意識と行動」より

1. 「わたしたちだけで生きるとすれば」
2. 「世界のためにできること」
3. 「集めよう、伝えよう」

1. 「わたしたちだけで生きるとすれば」一日の行動を書き出す。使うもの、など。次の日、外国からのものをなくした生活を書いてみる。何に困っただろうか？どんな生活になるだろうか？

2. タックスヘイブンの金の動きと、ワールド・スタディーズの「分け前」の図を比較する。1980年代と、今の違いは何だろうか？

<https://www.dropbox.com/s/5dmcrnslgctxgvi/TJN%E7%A8%8E%E9%87%91%E3%81%AE%E5%85%AC%E6%AD%A3%E3%81%95.docx?dl=0>

気づいたこと 感じたこと 学んだこと 16/12/26

- ・ ホンジュラスの取り分が大きい。
- ・ 自国のものではなくものを食べるのは、たいていの人の努力で成り立っている。
- ・ 非課税システムの世界規模の展開
- ・ 公正な配分が実現している。
- ・ ペーパーで済まない。ネット・電利・電子・刺激が世界をめぐっている。
- ・ 輸送にかかるとコストは下がる。
 - ↳ 税金合 あるいは 効率化あるいはダンセンダー等々の恩恵
- ・ ドローン化 (IT化) 外国人
- ・ アンカーの無大化。コストカット
- ・ ぬかたにすぎず → 単純に怒らない。
 - ↳ 南米の人々も全体が見えない。
- ・ 島の会社設立や税金制度がわかりたい。
- ・ 会社はどこにでもあり。

市民性教育の三本柱

- ◎ コミュニティ意識
- ◎ 社会的課題の共有
- ◎ Political Literacy

3. 「世界のためにできること」を市民性の行動リストから考える。

「市民参加のタイプ」EEM, p. 250

<https://www.dropbox.com/s/0t1yv84g4yw3yd/%E5%B8%82%E6%B0%91%E5%8F%82%E5%8A%A0%E3%81%AE%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%83%97.pdf?dl=0>

Political Literacy と自動化のバリエーション

- Federal Family で育ち、... 親がやっていることを
逃れられない。→ 本当にわたしは望んだこと?
考えたことあるか? → 内... 直しの経験
- 政治的なことへ関心する人へのハードルが高い
- 自分は何をやっても変えられない。無力感
- 行政の一部ではないという感覚がある。
成果を示しにくい
- 人権 - いま、ここ → いじめ、貧困、JTB、DV
- 環境 - じわじわ ← 公害
+ 重労働の権限 + 人権侵害
- 国際協力 なくてもいい? → ないぞ?
- 国内協力 ない... じゃあ...? → 代替案あり
- 違い
- 3F. food, fashion, fun
- グローバル (シフトシフト) - いろんな考え
??? よりよ、国際社会
に力づく
- 地域づくり - 農村

「国際」で引きつけられる人はいる。
・ 観光客・JICA 員・海外留学帰
「You なにに海外へ?」 → ムリなと、より道
・ カニ漁 - 出会い系 - YH. } 余裕
・ アニメ交流 - 自分探し
「就職」に活かせるのか? = ショック!
・ 3.11 後のボランティア - 就職に有利
言うべき場ではない? → 海外
海外
利用されている。使命感
予算
市民性・社会性教育
でできること
親の生活スタイル・言葉の影響
→ こんな親、カッコイイ! 葛藤のせいで
内向型 都市型 農村型

■ 市民参加の Political Literacy は次のようなアクティビティでも共有できる。

◎ アドボカシー・ビンゴ いっしょにすすめよう! 人権, p. 83

◎ ヨーロッパ開発銀行「意見聴取・相談の種類と技法」 いっしょに ESD!、p. 33

「市民参加のタイプ」には 56 もの項目があるために、アクティビティとして使うには難しい。しかし、市民参加の多様性を伝えるには良いし、また「情報提供型」資料とも言える。

国連 NGO リエゾン事務局の考える NGO の役割

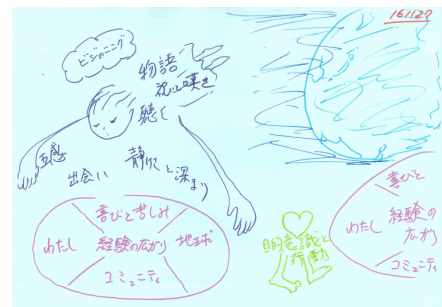
- ・ 問題提起
- ・ 意思決定への参加
- ・ 実践活動
- ・ 評価モニター

セッション3 ふりかえり
16:00-18:00

1. テキストリーディングと共有
2. 『未来を学ぼう』の構造とアクティビティの応用

セッション4 プログラム開発
9:00-11:30

1. 昨日のふりかえりと『未来を学ぼう』の構造図の共有



2. プログラムのネタのブレインストーミング

16/11/27 今日の「経験のなかり」のネタ/4

- 地球の112スペースワールド
- デジタルファミリーとローカルファミリー語録
「スノーデンの育て方」
- 地域ボス、地域エゴとの付き合い方
→ 目的意識と行動
- 人権セクターをどうへ? どうはめる? 意思決定のやり方を考える、声を上げる
- 3.11 ボランティアは「就職に有利」の裏面感
対心志 - 受け皿と害り振り方
- 自然災害などの被害を利用して、自分中心

- 自然災害などの被害を利用して、自分中心のものの見方の方が、便乗
- どんなパーワーでも スーパー!! もっとボウニリアが就職には有利になるには どうする?
インターンとかたまたま知恵 → 非正規・貧困の連鎖
- 若者の「貧困世代」
- 超ヤング高令化 21%より高令化 26%
7% 14% 高取 30%

- ローカルな正義 - 世代間正義の元あり方 - 発言できる高令者はいるか?
- 富裕層の人が「もっと税金を!!」よりフェアな社会のために発言する
- 奥能登、民泊、年金受給者による地域おこし活動 BI 年金 8割 削減
- 世界農業遺産 2017年 18日 高令者の宅が受け入れ (2人) 組長さん 要 若夫婦がきりもり
- 上勝村の「い3ど」 - 趣味の農業 ビジネス化、単調、均質化 → 格差化、一意的な社会

- 会社内・託児所、3人組の人がメロで立ち上げ 事務所、NPC
- 2271力 2人A派ケン一子母の女性
- キーバのなかからと国際協力 **JICA**
- 宅配付託児所 キャンピングカー **子連れ回**
- JICA「最先端の子育て事情」 **横浜入**
- 人権セク - 子連れ女性男性 come
- キャンペーン、高取に来た人、みなメルト
- 子連れで回りやすい県? あります。 働きやすい 1 簡単託児 3 民話 2 人材アール

セッション5 プログラム開発

12:30-14:30

『未来を学ぼう』のすすめ方で開発するための枠組みの共有。

ネタ	経験の広がり	ふりかえりの鍵	目的意識と行動

地域エゴ・地域ボス「経験の広がり」

・提言する

②世界のイメージ図 p.25

③わたしの気持ち

④生命のつながり — 地域のつながり

⑤美しい宮殿で

「ふりかえりの鍵」

①たとえ話から

②アリス・リスニング ← 聴く力のどれか

③世界のためにできること p.134 「目的意識と行動」

の未来からの手紙 p.93

JICA 子連れ勤務「経験の広がり」

①わたしの気持ち p.21

②今日の世界は p.36 JICAにまじって

③アレミツ物語 p.72 JICAプロジェクトにまじって

④パレム村のニュース p.77

「ふりかえりの鍵」

①聴く力 大切にする力 p.104

②2つの職場 p.170

③物語から学ぶ p.111 のビデオ

「目的意識と行動」

・やれる・できる・がんばる p.191

あなたにとって援助とは? p.184

まとめ

ネタ	経験の広がり	ふりかえりの鍵	目的意識と行動
地域ボス・地域エゴ	A. 美しい宮殿で B. わたしの気持ち 生命のつながり C. 世界のイメージ図	A. たとえ話から B. 聴く力のどれか C. 世界のためにできること 対立の場面	集めよう・伝えよう C. 未来からの手紙
人権センターはどこへ?	未来のセンターを訪ねて	あるがままに伝える	理想の一日 あなたにとってセンターとは?
職場での子連れ勤務推進	A. わたしの気持ち B. 今日の世界は C. アレミツ物語 パレム村からのニュース	A. 聴く力のどれか B. 二つの職場 C. 物語から学ぶ	やれる・できる・がんばる B. あなたにとって援助とは?

人権センターの未来を学ぶ「経験の広がり」

○未来のセンターを訪ねて? p.33

○

「ふりかえりの鍵」

○来学期に向け? p.136

○あるがままに伝える p.123

○これがわたしの友だちです p.141

「目的意識と行動」

○あなたにとって援助とは? p.186

□理想の一日 p.194

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

○未来からの手紙 p.185

セッション6 ふりかえりと個人的行動計画

14:45-16:00

1. 個人的行動計画
2. 未来を築くインタビュー
3. 二日間のふりかえり

2日間のふりかえり ^{Federal/Local}

- V&Vの三展開は普段使いにGood!
- 経験-ふりかえり-目的意識を大切
- 事例を考える時に、色々ものが出た!
- 使うのか? と思ってもアクティビティを活用すると、ソフトランディングの効果を感じられる。
- テキストの使い方の自由度-このままでは
- 先週おの研修「マサチューセッツ」で感動的なエンディング。
- 「未来を築くインタビュー」日常の中で「ないでかい」ことに気づく。もっといい、^{あじわい}
- 「アクティビティをさせるよ!」はやりやすい。
- 信頼しあっている人の間では、もっといい。

■ What's Next? 次に繋がりたいもの。

- Federal Family と Local Family の子育て語録
- 来年度の研修の組み立てとハンドブック
- Skill3by3